

報道関係者 各位  
プレスリリース

2009年 3月 12日  
ロバート・ウォルターズ・ジャパン株式会社  
代表者名 ケビン ギブソン

グローバル人材紹介会社が分析するアジア主要都市の雇用事情。  
2008年第4四半期、「ロバート・ウォルターズ アジア雇用指数」を発表。

## ■ 要約

グローバルスペシャリスト人材紹介会社 ロバート・ウォルターズ株式会社は、2008年第4四半期に関する同社のアジア雇用指数「ロバート・ウォルターズ アジア雇用指数」を発表しました。アジア主要都市（日本、中国、香港およびシンガポール）の各雇用事情を解説しています。

専門分野に特化したグローバルスペシャリスト人材紹介会社 ロバート・ウォルターズ株式会社（本社：英国ロンドン）は、2008年第4四半期に関する同社のアジア雇用指数を発表しました。

「ロバート・ウォルターズ アジア雇用指数（The Robert Walters Asia Job Index）」では、日本、中国、香港およびシンガポールにおける大手求人情報サイトおよび国内紙に掲載された雇用枠に関する求人数を追跡記録しています。（表1-3参照）

2008年第4四半期の「ロバート・ウォルターズ アジア雇用指数」では、昨年からの追跡以来初めて、日本および中国の印刷物およびオンライン広告の追跡を加え、更に業種ごとに求人広告を分類しました。

### 【主要な所見】（表2-3参照）

- ・第4四半期に掲載された求人情報の数は、10月から12月の間で15%減少。
- ・第4四半期の減少幅は、シンガポールが最大となり、41%。中国の求人情報の減少幅は12%にとどまった。
- ・需要は、収益に即効性があり、プラス効果をもたらす可能性のあるビジネス開発および営業職、コスト節減につながる財務の専門職が全体的に多かった。
- ・日本では、オンライン・マーケティングが主要産業として浮上しており、クリエイティブなスキルが尊重されている。
- ・香港では、小売業における営業職の需要が最も大きかった。
- ・シンガポールでは、財務規制に対する重点的な取り組みが、コンプライアンスおよび監査の専門職の需要を後押しした。
- ・中国では、以前から高水準だった国外投資が、人事やトレーニングからエンジニアに至るまで、広範囲にわたる職種の需要維持に貢献した。

■ アジアにおける雇用指数 (表1-2参照)

「ロバート・ウォルターズ アジア雇用指数」では、2008年最終四半期、対象となった4つの地域すべてにおいて、分析対象業種のほとんどで、雇用枠の求人数の減少が示されています。

第4四半期後半の求人広告数は、クリスマス休暇の時期であり、欠員が全く無いことが多い点から、常にマイナス影響を受けますが、2008年もこの点については例外ではないことが明らかになりました。ただし、深刻化する経済不況によって、第4四半期における減少に拍車がかけられたことは明白です。これは同時に転職志願者の心情にも影響を及ぼしています。

多くの転職志願者も、特に優秀な人材ほど、転職に消極的な姿勢をとっており、より大きな安心と自信を感じるポジションにとどまる方を好んでいます。

2008年第4四半期に掲載された求人情報数は、同年第3四半期と比較して、香港では25.2%減の324,298件、シンガポールでは1.7%減の189,782件でした。

香港での減少幅の著しい落ち込みは、2008年第4四半期に求人活動が大幅に減少したグローバル金融サービス産業に、当地がより大きく関わっていることを反映したものと考えられます。

〈表1〉 2008年 第4四半期 求人広告数の分析

	香港	シンガポール
3ヶ月間 (2008年7月-9月)	433,818	192,985
3ヶ月間 (2008年10月-12月)	324,298	189,782
変化率 %	-25.2%	-1.7%

〈表2〉 2008年 第4四半期 求人広告数の分析 (月毎)

	日本	中国	香港	シンガポール	合計
10月	109,584	1,893,481	132,535	77,192	2,212,792
11月	104,115	1,794,021	104,734	66,848	2,069,718
12月	83,119	1,671,946	87,029	45,742	1,887,836
変化率 % (2008年10月-12月)	-24.2%	-11.7%	-34.3%	-40.7%	-14.7%
2008 第4四半期 合計	296,818	5,359,448	324,298	189,782	6,170,346

〈表3〉 2008年 第4四半期 求人案件数の推移一分野別

	日本			変化率	中国			変化率
	10月	11月	12月	10-12月	10月	11月	12月	10-12月
リテール/営業/事業開発	38,261	35,328	25,483	-33.4%	539,172	522,140	430,739	-20.1%
資産管理	114	96	74	-35.1%	0	0	0	-
オペレーション(プロダクト、ロジスティックス)	261	299	252	-3.4%	172,153	170,873	130,048	-24.5%
マーチャンダイジング/購買	3	2	0	-100.0%	16,765	16,609	15,427	-8.0%
弁護士/法廷弁護士/コンプライアンスオフィサー	113	135	100	-11.5%	4,777	4,151	4,129	-13.6%
IT スーパーバイザー/マネージャー/プログラマー/データベース アドミニストレーター	7,968	7,861	5,807	-27.1%	212,918	193,937	170,094	-20.1%
人事/トレーニング	212	190	147	-30.7%	107,843	96,818	112,525	4.3%
エンジニア/検査官/建築士/技術者	22,870	19,944	15,436	-32.5%	188,195	173,997	265,138	40.9%
編集者/レポーター	83	95	51	-38.6%	51,208	69,250	42,699	-16.6%
顧客サービス	61	72	45	-26.2%	36,614	33,150	29,614	-19.1%
コンサルタント/アナリスト	1,158	904	849	-26.7%	53,586	50,601	45,516	-15.1%
芸術/デザイン/クリエイティブ	1,960	2,045	1,363	-30.5%	32,329	29,893	27,027	-16.4%
広告・マーケティング	335	393	281	-16.1%	221,288	205,343	177,867	-19.6%
アドミニストレーション/事務/秘書	4,414	3,733	3,213	-27.2%	47,018	44,865	40,714	-13.4%
経理/財務	2,656	2,493	1,777	-33.1%	140,549	124,527	116,041	-17.4%
その他	29,273	30,763	28,241	-3.5%	69,066	57,867	64,368	-6.8%
平均値				-29.7%				-10.3%

	香港			変化率	シンガポール			変化率
	10月	11月	12月	10-12月	10月	11月	12月	10-12月
リテール/営業/事業開発	14,984	11,406	9,957	-33.5%	10,030	8,402	6,457	-35.6%
資産管理	1,572	1,354	925	-41.2%	622	1,336	305	-51.0%
オペレーション(プロダクト、ロジスティックス)	6,926	5,792	4,361	-37.0%	5,941	5,178	2,972	-50.0%
マーチャンダイジング/購買	8,249	6,722	5,520	-33.1%	859	722	417	-51.5%
弁護士/法廷弁護士/コンプライアンスオフィサー	991	812	620	-37.4%	451	406	223	-50.6%
IT スーパーバイザー/マネージャー/プログラマー/データベース アドミニストレーター	10,201	7,063	6,363	-37.6%	7,161	6,371	4,592	-35.9%
人事/トレーニング	2,429	1,708	1,253	-48.4%	4,376	3,533	2,275	-48.0%
エンジニア/検査官/建築士/技術者	15,541	12,082	8,777	-43.5%	11,589	10,197	7,869	-32.1%
編集者/レポーター	531	322	231	-56.5%	174	119	89	-48.9%
顧客サービス	3,589	2,662	2,175	-39.4%	3,835	3,404	1,807	-52.9%
コンサルタント/アナリスト	3,179	2,702	2,178	-31.5%	1,569	1,176	822	-47.6%
芸術/デザイン/クリエイティブ	3,341	2,736	2,060	-38.3%	1,154	960	818	-29.1%
広告・マーケティング	6,647	5,117	4,374	-34.2%	3,294	2,853	2,196	-33.3%
アドミニストレーション/事務/秘書	15,593	10,395	8,046	-48.4%	7,264	5,967	3,551	-51.1%
経理/財務	21,560	16,850	13,708	-36.4%	12,083	10,520	6,689	-44.6%
その他	21,465	20,412	18,255	-15.0%	8,527	7,274	5,318	-37.6%
平均値				-38.2%				-43.7%

## ■ 市場の解説

世界全体における採用活動は、金融恐慌とその後が発生した経済不況の影響を受けています。

しかし、一部の地域は他よりも深刻な影響にさらされており、これはロバート・ウォルターズのアジア雇用指数の現在の対象となっている4つの地域間の比較によって裏付けられています。

香港およびシンガポールは、両者とも主要な金融の中核であり、グローバル金融サービス産業の影響を直接的に受けます。そのため、日本や中国のように国内経済の規模が著しく大きいことで、金融サービスの相対的割合が小さくなる国々よりも、求人情報数における減少率の大きさが表面化しても、驚愕には値しません。

日本では、オンライン・マーケティング業界においてますます著しい成長が表れています。

第4四半期には求人情報数は全面的に減少したものの、オンライン・マーケティングやウェブ・デザインなどの分野でクリエイティブなスキルは需要が高く、減少率は際立って低くなっています。

これは有能な営業スタッフに対する需要でも同様で、クリエイティブティと同等の資質が求められています。

経済不況において日本企業は、コストを削減し売上を伸ばすことのできる逸材の発掘に取り組んでいます。金融サービス業界では、会計実務やその他のあらゆる規制を国際基準にまで高めなければならない必要性があり、適切な資格を持つ経理専門職に対する需要が支持されています。ただし、取引量の減少により、金融サービス業界におけるコンプライアンス職の需要は、結果的に減少となりました。

ロバート・ウォルターズ・ジャパンのマネージング・ディレクター、Kevin Gibson氏は、以下のようにコメントしています。

「求人情報数の全体的な減少は看過できませんが、最高レベルの営業職の需要が今もなお日本では満たされていないという点は変わりません。ビジネス環境はますます競争的になっており、クリエイティブな逸材は企業が市場のシェアを獲得できる主要なリソースとしてとらえられています。

同様に、企業のコスト管理およびコスト削減を支援できる逸材は、特に不景気では顕著ですが、常に求められていくことでしょう。」

中国での求人情報数は、旧暦の新正月に先立って徐々に減少するのが通例で、2008年も例外ではありませんでした。ただし、第4四半期の求人情報数の減少率は、アジアの他の地域ほど目立っていません。中国でここ数年見られた経済成長はペースダウンしましたが、中国は、特に欧米経済を筆頭に世界のその他の国々ほど、金融恐慌によってひどく影響を受けてはいない、と一般的にとらえられています。海外での消費者需要の低下から、中国の輸出には当然影響が及んでいます。

しかし、国内市場は活発で、中国に対する国外からの投資といった継続した傾向があり、これらは引き続き掲載されている求人数によって裏付けられています。おそらく中国の求人データにおける最も顕著な傾向は、建設およびインフラのプロジェクトで必要となるエンジニアおよびその他の技術スタッフの求人増加となるでしょう。

人事およびトレーニングに対する投資もまた伸びを見せています。

これは、特に中国のいわゆる「副都心」的な大都市の多くが急速に拡大するのに伴って、この分野の上位の逸材の確保が困難になり、需要が高い水準にとどまっていることを反映しています。

ロバートウォルターズ・チャイナのマネージング・ディレクターShane Sibraa氏は、以下のようにコメントしています。

「中国の全体的な経済の基盤は今もなお堅調です。金融恐慌の影響と消費者マインドに対するその影響は感じざるを得ませんが、中国国内において、競争に向けて開花しつつある市場を最大限活用しようと模索する海外企業やインフラに対する継続的な投資が主な原動力となり、逸材を求める需要は高水準を維持しています。」

香港における主要な傾向は、小売産業による売上を後押しし収益を確保するための取り組みでした。小売業は香港経済の生命線でもあり、消費者支出が減少している今、小売業者は在庫販売で売上を伸ばすより、革新的な方法を模索しています。これを受けて、営業およびマーケティング、ビジネス開発の役割に対する重要性が増してきました。このように掲載される求人情報数は、絶対数としては減少している一方、営業やコスト管理などの職種の求人減少率は、事務、秘書またはサポート業務などの分野に比べて、それほど目立ったものではありません。

あらゆる業種の企業において、裏方的な役職に対する注目は減少している中、例として事務スタッフの共有という新たな傾向が見られます。程度こそ縮小しているものの、活動の証拠が今もなお残っているその他の部門には、経理およびITが挙げられますが、これらは依然としてビジネスに絶対不可欠と見なされているためです。

コンプライアンスおよび監査の役割を果たすスタッフについては、継続的な需要がある一方、コスト圧縮の取り組みはますます新しい形態の技術に依存するようになっています。

ロバート・ウォルターズ・ホンコンのディレクターMatthew Bennett氏は、以下のようにコメントしています。

「第4四半期の求人情報数は、私たちのクライアントとの取引での所感と一致しています。人件費の予算は最終四半期までに使い果たされてしまう傾向にあり、年度末は自然に戻つぽみとなります。世界経済の状況の影響は、明らかに香港にも波及していますが、雇用者のコスト削減や利益創出が実行できるスキルを持つ人材の需要は今も堅調です。」

類似した傾向はシンガポールでも確認されています。

雇用者の主眼は営業関連のポジションに置かれていました。これらの分野は、世界金融恐慌でより大きな打撃を受けている金融サービスに比べて、活動レベルが大きくなっています。

しかし、新しい財務規制への重点的な取り組みにより、コンプライアンスおよび監査のスペシャリストのポジションで求人が展開されることになりました。

大手会計監査法人の中には、2009年に新規プロジェクトを見込んで求人に乗り出しているところもあります。

小売業者は、コスト削減への取り組みとして、業界の若年層に求人の照準を絞り込んでいます。

極めて順調に持ちこたえている分野のひとつには、公共部門が挙げられます。

特にインフラについては、地方経済を支援するためにシンガポール政府が促進してきたものです。したがって、これらの分野におけるポジションの求人は、継続して掲載されています。

ロバート・ウォルターズ・シンガポールのマネージング・ディレクターMark Ellwood氏は、以下のよう  
にコメントしています。

「2008年最終四半期は、異例というほどではなかったものの、例年より軟調でした。

求人数の減少は、年度末前に人件費予算が使い果たされてしまう傾向を反映したものです。

転職志願者の中には、この状況であれば転職に気が進まないというもったもな心情を抱いており、おそ  
らく彼らは前年まではそれほど警戒心がなかったと思われます。」

#### 編集者への注釈

ロバート・ウォルターズは、アジア市場における大手スペシャリスト人材紹介会社であり、現在日本、  
中国、香港、シンガポール、マレーシアおよびタイを対象とした拠点を保有しています。

#### データの情報源

ロバート・ウォルターズは、主にミドルからシニアエグゼクティブクラスに関する人材紹介に特化して  
います。市場の該当セグメント全体について主要な傾向を解説できる能力を有しています。「ロバー  
ト・ウォルターズ アジア雇用指数」では、以下を対象とした雇用セクションの情報数を追跡していま  
す：

<b>日本</b>  Asahi Shinbun (Sunday & Monday morning edition) Nihon Keizai Shinbun (Sunday morning edition) rikunabi-next.yahoo.co.jp doda.jp employment.en-japan.com www.indivision.jp www.careercross.com/en	<b>中国</b>  www.chinaHR.com www.zhaopin.com career.ceconline.com www.jobchina.net china.recruit.net
<b>香港</b>  Classified Post Career Times (Friday Edition) www.careertimes.com.hk www.monster.com.hk www.jobmarket.com.hk www.jobsdb.com.hk www.classifiedpost.com www.jobs.gov.hk/eng	<b>シンガポール</b>  Straits Times (Daily) www.jobstreet.com.sg www.monster.com.sg www.jobscentral.com.sg www.jobsDB.com.sg www.ST701.com.sg

詳細に関するお問い合わせ（英語）：

<b>Robert Walters</b>	
Dick Parnell (ディック パネル) CEO, Robert Walters Asia Pacific	Tel. +61(0)2 8289 3100
Kevin Gibson (ケビン ギブソン) Managing Director, Robert Walters Japan	Tel: +81(0)3 4570 1524
Shane Sibraa (シェーン シブラ) Managing Director, Robert Walters Greater China	Tel. +852 2103 5302
Mark Ellwood (マーク エルウッド) Managing Director, Robert Walters South East Asia	Tel. +65 6228 0200

◆ ロバート・ウォルターズについて(www.robertwalters.co.jp)

ロバート・ウォルターズ株式会社は、1985年、英国ロンドンにて設立され、世界5大陸17カ国の主要都市に38の事業所を有するグローバル人材紹介会社です。

日本では、2000年より事業を開始し、全ての業界を対象に、専門分野に特化した人材紹介および人材派遣サービスを提供しています。

当社は、日系中小企業から大手企業、世界有数のグローバル企業に至るまで、幅広い層のクライアント企業と取引があります。

人材紹介の業種と職種は多岐に渡り、銀行・証券、投資、不動産・保険、経理・財務、IT、法務・コンプライアンス、営業・マーケティング、人事、秘書・サポート業務、物流・購買・サプライチェーン、リテール、サービス業、医療・医薬・バイオ分野を専門としています。

【会社概要】

■会社名	ロバート・ウォルターズ・ジャパン株式会社
■代表者	代表取締役社長 ケビン・ギブソン (Kevin Gibson)
■資本金	1,400万円
■設立	2000年1月4日
■所在地	〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3丁目12番18号 渋谷南東急ビル14階
■TEL	03-4570-1500 (代表)
■FAX	03-4570-1600
■URL	<a href="http://www.robertwalters.co.jp">http://www.robertwalters.co.jp</a>
■Email	info@robertwalters.co.jp
■事業内容	人材紹介・人材派遣・人材コンサルティング業務

【本件に関するお問い合わせ】

■会社名	ロバート・ウォルターズ・ジャパン株式会社
■担当者	佐々木 智子
■TEL	03-4570-1500 (代表)
■FAX	03-4570-1600
■Email	Tomoko.Sasaki@robertwalters.co.jp